科目名	舞台音響技術概論Ⅱ			担当講師	梶野 泰範・千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務					
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンド・ステージ　専攻		授業形態	講義
期　間	5・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		270　分

期	修　得　目　標
5 期	舞台機構調整作業筆記試験、実技試験の科目毎に理解を深め、修得する。
6 期	舞台機構調整作業試験を振り返り、現場に活かせる確かな知識としてまとめ上げ修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	「電気」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の概要説明、練習
2	4月25日	「舞台一般の知識、劇場・舞台の種類、歴史」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
3	5月9日	「音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識」を復習し、習得する / 実技試験の練習
4	5月16日	「舞台機構設備」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
5	5月23日	「照明設備、映像設備」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
6	5月30日	「音源の基礎、声、楽器、音楽」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
7	6月6日	「音響機器の種類、構造、機能及び用途」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
8	6月13日	「音響機構調整法」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習
9	6月20日	「関係法規」「安全衛生」に関する知識を復習し、習得する　/ 実技試験の練習
10	6月27日	模擬試験を実践的に行う①
11	7月4日	模擬試験を実践的に行う②
12	8月22日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める①
13	8月29日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める②

評価方法	A評価 定期試験（筆記試験）の素点で評価
	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ローディー実習Ⅲ			担当講師	斎藤　康次
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンドステージ専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	4リズムの詳細なメンテナンス作業、ステージ転換作業を修得する。
6期	4リズムの総合的なセッティングやDJセットを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス
2	4月26日	Drセットのメンテナンスについて
3	5月10日	Drヘッドの交換、チューニングについて
4	5月17日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンスについて
5	5月24日	ギター、ベースの弦高、オクターブピッチ、P.U.高さ調整について 弦と小物類と内部配線について
6	5月31日	電源と感電対策、テスターの使い方について
7	6月7日	キーボードシステムの基本セッティングについて
8	6月14日	実技テストの確認、練習
9	6月21日	実技テスト①
10	6月28日	実技テスト②
11	7月5日	実技テスト③
12	8月23日	4リズムの基本的な演奏
13	8月30日	DJセットのセッティング、操作方法について　　試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度（30％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	※実技習得度評価時期・方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	機材概論Ⅲ			担当講師	斎藤　康次
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンドステージ専攻	授業形態	講義
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	機材の詳細を学び、実際のPA作業に反映させる方法を修得する。
6期	様々な現場の機材やその仕組みを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス ミキサーの種類と特性　レベルメーターについて　ブロックダイヤグラムについて
2	4月26日	デジタル伝送について　ケーブルの種類と特性について
3	5月10日	パワーアンプの種類と特性　スピーカーの種類と特性
4	5月17日	FOH、MONITORスピーカーのチューニングについて
5	5月24日	D.I.の種類と特性　インピーダンスについて
6	5月31日	マイクロフォンの種類と特性
7	6月7日	電源について
8	6月14日	MIXバランス、モニターバランスについて
9	6月21日	ワイヤレスマイク、イン・イヤー・モニターについて
10	6月28日	EQを使用したサウンドメイクについて
11	7月5日	その他のエフェクターの活用について
12	8月23日	様々な現場での機材の活用について　定期公演に向けて
13	8月30日	試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） A評価
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習Ⅲ　A			担当講師	千葉　諭
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンド・ステージ	授業形態	実習
期　間	5期、6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
5期	音響システムの知識の向上と、作業の効率化について修得する
6期	様々な現場状況を想定し、実践的な知識や技術を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月14日	モニタースピーカーの配置の違いと聞こえ方の違い、デジタル卓の操作練習
2	4月27日	新入生歓迎ライブの仕込み作業、転換練習、作業検証
3	5月25日	デジタル卓を使ったシステム構築　ハウス、モニターのシステムを理解する
4	5月26日	ライブ実習　②
5	6月1日	モニターのサウンドメイク、マイキングについて
6	6月8日	メインスピーカーとモニタースピーカー、メインスピーカーとフォロースピーカーの関係性について
7	6月9日	モニタースピーカーのチューニングについて
8	6月22日	アナログ卓とデジタル卓のシステムや音の違いについて
9	6月23日	ライブ実習　④
10	7月6日	ステージ転換、ライザ転換について
11	7月7日	ライブ実習　⑥
12	8月17日	実践練習①　自分たちでプランニングした内容に従って、仕込み作業を行う 作業時間や内容の検証、改善点を確認する　※実技習得度評価
13	8月24日	実践練習②前回の作業内容の迅速かつ効率化をする ※実技習得度評価
14		
15		

評価方法	B評価 定期試験（筆記試験）30%、実技修得度70%で評価
	平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	参考資料の配布
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習ⅢB			担当講師	斎藤　康次
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンドステージ専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
5期	実践的なオペレート技術、ステージ転換作業を修得する。
6期	エンジニアとして、現場を成立させる事が出来る実践力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス　デジタルコンソールの確認
2	4月21日	ライブ実習①
3	4月28日	新歓ライブに向けてのセットアップ
4	5月18日	仕込み作業のレベルアップ　トラブルシューティング
5	5月19日	ハウス、モニターのスピーカーチューニングについて
6	6月2日	マイク鳴き比べ～マイキングによる音に違いを知る
7	6月15日	MIXバランスについて　モニターバランスについて
8	6月16日	ライブ実習③
9	6月29日	イコライジングについて
10	6月30日	ライブ実習⑤
11	8月18日	COMP/GATEを使用したMIXバランス
12	8月25日	総合的なPA技術について　実技テスト
13	8月31日	定期公演校内リハの仕込み
14		
15		

評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度（30％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	※実技習得度評価時期・方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PLOT制作			担当講師	千葉　諭
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2　学年	対象専攻	サウンド・ステージ	授業形態	講義
期　間	5期、6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	音響全体のプランニングや関連資料の作成方法を修得する。
6期	様々な現場状況を想定し、実践的な資料作成の知識向上を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	K-1の資料から、新入生歓迎ライブに向けた資料の作成（体制表、役割分担、作業日程等）
2	4月22日	新入生歓迎ライブの資料作成（仕込み図、配線図、機材リストなど）
3	5月6日	新入生歓迎ライブの資料確認、音源確認、転換プランの検証
4	5月20日	新入生歓迎ライブの資料から、定期公演に向けた資料の作成
5	5月27日	資料作成に必要な情報収集について（出演者、編成、使用機材、会場、各所の担当者など）
6	6月3日	会場の資料を基に、舞台図面の把握、搬入条件や導線、禁止事項について
7	6月10日	出演者の資料を基に、PLOT、仕込み図、転換プランの作成について
8	6月17日	音響全体のプランニング、機材リストの作成について
9	6月24日	Zepp Sapporoの音響システム、会場情報について
10	7月1日	定期公演に向けた準備（体制表、役割分担、必要資料の確認など）
11	7月8日	定期公演の作業別資料の作成、転換に必要と思われる作業の確認
12	8月19日	定期公演の各資料作成（仕込み図、配線図、転換プラン、機材リストなど）
13	8月26日	定期試験対策
14		
15		

評価方法	A評価 定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	参考資料の配布
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務					
対象学年	2　学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態	講義
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分

期	修　得　目　標
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス　応募書類の確認/就職活動計画
2	4月22日	自己PR、志望動機作成対策①
3	5月6日	面接のポイント①/面接対策実践①
4	5月20日	オンライン面接について
5	5月27日	メールの送り方
6	6月3日	作文対策①
7	6月10日	企業研修について（研修書類の説明含む）
8	6月17日	自己PR、志望動機作成対策②
9	6月24日	東京企業について
10	7月1日	就職活動計画の見直し
11	7月8日	面接のポイント②/面接対策実践②
12	8月19日	受験促進、企業情報の提供（各業種）/受験の流れ確認
13	8月26日	作文対策②

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	プリント配布
注意事項	13時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません（留年となります）

科目名	時事研究			担当講師	國本　昌秀
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	2　学年	対象専攻	2年A,B組	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
5期	ニュース・時事問題に関心を持ち、読み解く力を修得する。
6期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス・ニュースとは何か
2	4月22日	18歳成人について
3	5月6日	ウクライナ問題について
4	5月20日	沖縄復帰50周年について
5	5月27日	直近のニュースについて
6	6月3日	動物愛護法改正について
7	6月10日	参院選挙について
8	6月17日	直近のニュースについて
9	6月24日	直近のニュースについて
10	7月1日	直近のニュースについて
11	7月8日	参院選挙について
12	8月19日	札幌市100年について
13	8月26日	講義振り返り
14		
15		

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業でプリント配布
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）